

# Actions for Sustainability

## 持続可能な社会の実現に向けた組織運営の取り組み

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、日本の科学技術の力でさまざまな課題を解決し、社会の持続可能な発展へ貢献することを目指しています。戦略立案、研究開発の支援、次世代人材育成や社会との共創など、その多岐にわたる事業を通じ、“科学技術イノベーションを通じた持続可能な開発目標への貢献(STI for SDGs)”を推進しています。さらに社会の持続可能性を高める組織のあり方を検討し、自らの運営と業務改善に生かしています。ここでは、JSTが持続可能な社会の実現に向けた組織運営の取り組みをご紹介します。



環境

Action for Environment



ガバナンス

Action for Governance



## JSTの脱炭素や気候変動への取り組み

### C O<sub>2</sub> 排出量削減

#### 日本科学未来館の再生可能エネルギー100%の電力調達

JSTが運営する日本科学未来館(以下、未来館)で使用する電力は2022年4月1日より再生可能エネルギー100%でまかなわれています。年間約2000トンの二酸化炭素を削減できる見込みで、一般家庭約700世帯分の年間排出量※にあたります。未来館で使われる電力は、年間およそ4100メガワット時です。できる限り温室効果ガスを出さないエネルギー源にしていきたいために、青森県にある深浦風力発電所、木造風力発電所で発電した電力と環境価値の証書「非化石証書」をゼロワットパワー株式会社から調達することで、実質的に二酸化炭素排出量ゼロの電力を手に入れています。

※環境省調査にもとづき1世帯あたり2.88トンで算出

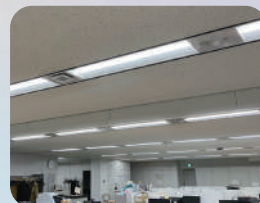


深浦風力発電所の風車

### 省電力化

#### JST執務室の照明装置のLED化

JST東京本部及び東京本部別館では、2021年度までに執務室等の照明がLED化され、省電力化に努めています。また、東京本部では空調熱源機として電力(ヒートポンプ)以外にガス(冷温水発生器)も備えており、電力需要ピーク時はガス主体の運転とすることで電力需要ひっ迫に伴う節電に協力しています。



JST東京本部執務室のLED照明

### TCFD提言への賛同

JSTは、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言について、企業の情報開示を支持する立場として同提言への賛同を2020年4月に表明しました。

JSTが行う持続可能な社会の実現に向けた組織運営の取り組みの一部を、  
**ESG (Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)**  
の観点からご紹介します。

私たちは、社会の一員として、持続可能な社会の実現に貢献する組織のあり方を追求し、  
今後もさらなる取り組みを行っていきます。



## 環境 Action for Environment

### 廃プラスチック削減

#### 自動販売機でのPETボトル容器ゼロとマイボトル給水器の設置

未来館では、館内の来場者向けの自動販売機でのプラスチック容器廃止のほか、マイボトルへの給水に対応した「ボトルフィラー」を設置し、廃プラスチックの削減に努めています。「ボトルフィラー」の利用も来場者から好評であり、設置から約1年半で、500mlPETボトル約1万本分のお水を提供しました。



PETボトル容器ゼロの  
オリジナルデザインの自販機



マイボトル容器に対応した  
「ボトルフィラー」



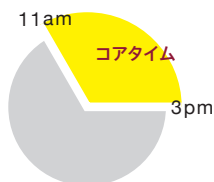
東京お台場にある  
日本科学未来館の外観



## 社会 Action for Social

### テレワーク制度と フレックスタイム制度の導入

仕事と生活との調和を  
図りながら効率的に働  
くことを目的として、テ  
レワーク制度、フレック  
スタイム制度を導入し  
ています。



### ダイバーシティ & インクルージョンの推進

第5次男女共同参画基本計画に基づき、具  
体的な数値目標 (2025年度末時点で、女性役員  
比率20%、女性管理職比率18%) を設定し、  
その実現を目指します。

新卒の新入職員における女性採用比率は、直近  
5年間 (2017~2021年度) において平均50%  
以上に達しています。障がい者雇用については、  
法定雇用率 (2.6%) 以上を達成しています。



### 子育てサポート: くるみんマークの認定

JSTは2020年12月18日付で次世代育成支援対策推進法  
に基づく「くるみんマーク」の認定を受けました。2015年に  
引き続き2度目の認定となり、JSTが「子育てサポート企業」  
として継続して評価されたことになります。

今後も職員が仕事と育児を両立できる  
職場環境作りに取り組んでいきます。

JST HP「トピックス: くるみんマーク認定 (2回目)」

<https://www.jst.go.jp/report/2020/210126.html>



## ガバナンス Action for Governance

### 内部統制システムの強化

JSTは、業務の有効性及び効率性の確保、  
事業活動に関する法令順守等のため、「内  
部統制の推進に係る基本方針」を定め、体  
制整備に必要な委員会を設置し、効果  
的にPDCAサイクルを適用しながら内部  
統制システムの強化に努めています。

- 内部統制推進委員会 ■総合リスク管理委員会
- 運用監視委員会 ■運用リスク管理委員会
- 契約監視委員会 等

### 情報セキュリティ関係の責任者

- 情報化統括責任者 (CIO)
- 最高情報セキュリティ責任者 (CISO)

### コンプライアンス意識の醸成

JSTは「コンプライアンスハンドブック」を作成し、役職員に配  
布しています。役職員が社会良識やモラルなどCSRも含めた  
広義のコンプライアンスを理解し、適切な判断や行動するた  
めの一助となっています。

またJSTでは毎年10月を「コン  
プライアンス月間」と定め、個人  
情報保護、法人文書管理、利益  
相反、安全保障輸出管理、ハラ  
スメント・労務、情報セキュリ  
ティ、研究倫理、といったコンプ  
ライアンスに係る事項につ  
いて、研修等を通じて周知・徹底し  
ているほか、メルマガ発行や階  
層別研修の実施等、さまざまな  
啓発活動に取り組んでいます。



### 情報セキュリティ対策の徹底

JSTでは、業務に必要な情報や皆様からお預か  
りした大切な情報を守るため、セキュリティ強化  
に取り組んでいます。

具体的には、最高情報セキュリティ責任者  
(CISO) をトップとしたガバナンス体制の下、政  
府機関共通のセキュリティ対策である「政府機関  
等のサイバーセキュリティ対策のための統一基  
準群」に基づき規程・ルールを作り、セキュリティ  
対策を行っています。

このほか、テレワークにおいても安全安心に業務  
を継続できるよう、全社的にオンライン会議ツ  
ールを導入しています。また、昨今増えているサイ  
バー攻撃に対しても、標的型攻撃メール訓練等  
の実施、研修等を通じて、常日頃より全役職員の  
情報セキュリティ意識の向上を図っています。

